

2 歴史・観光

—悠久の歴史と
優れた観光資源を活かすまち—

令和5年度第1回総合計画審議会のご意見等を踏まえた修正内

基本施策2	景観の保全と価値向上	2
基本施策3	観光の振興	4

政策指標

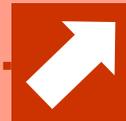
基準値
(令和3年度)

52.8%

石岡市には自慢できる魅力
があると思う市民の割合

※4段階の内、上位2段階を選択した割合

目指す方向



148万人
※令和元年度

観光入込客数(年間)

200万人

基本施策2 景観の保全と価値向上

あるべき
将来の姿

本市が有する歴史・文化・自然それぞれの優れた景観資源を活かしながら魅力ある都市景観が形成されています。

成果指標	基準値 (令和2年度)	実績値 (令和4年度)	目標 (令和9年度)
住民参加型まちづくりファンド支援事業の実施件数(年間)	1件	1件	5件

現状・これまでの取組

- 本市は、筑波山に代表される山並みや田園空間等の自然景観、常陸国分寺等の史跡や中心市街地の看板建築といった歴史的景観など、多様な景観資源を有しています。
- 本市が有する看板建築や茅葺民家などを景観重要建造物に指定しています。平成27年度からは、「石岡市住民参加型まちづくりファンド支援事業基金」を設置し、基金を活用して修景事業を支援することで良好な景観形成と歴史的・文化的景観の継承に努めています。
- 適時適切な森林の整備や管理をするなど、里山の保全に取り組むことで、優れた里山景観を形成しています。
- 茅葺技術の習得と活用を活動分野とする地域おこし協力隊が活躍しています。茅葺に関するネットワークづくりや茅葺の保存、活用による地域振興をとおして、茅葺の魅力を発信するとともに、伝統技術の承継に努めています。

用語解説 修景事業とは
個人や企業が建築物等を周辺の良好な景観に調和したデザインに改修すること。

写真

写真

課題

- 八郷地域の自然景観や、石岡地域の中心市街地の歴史的景観を適切に保存していくことが必要です。巨樹や生垣などの地域ならではの景観もあり、地域の特色として大切にする必要があります。一方で、建物の老朽化や所有者の高齢化に伴い茅葺民家や看板建築など歴史的建造物の維持が課題となっています。
- **修景事業の財源となる「石岡市住民参加型まちづくりファンド支援事業基金」は、市民・企業からの寄附金により運用されているため、事業継続のため財源の確保が課題となっています。**
- 良好な住環境と都市景観を形成するために、宅地化を目的とする開発事業主及び建築主に対し、無秩序な宅地化と違反建築の防止に向けた、効果的な指導・啓発を行うことが必要です。
- 里山における田園風景には、風景の基となる水田、畑、山林などを耕作する担い手が大きな役割を果たしています。高齢化などにより担い手不足が進むなかで、田園風景の維持が課題となっています。

関連計画

- ・石岡市景観計画（平成24年度～）

主要な取組

取組名	取組内容	担当課
住民参加型まちづくりファンド支援事業	八郷地域の自然景観や石岡地域の歴史的景観など、本市が誇る良好な景観の保全を目的として、建築物等の修景事業を支援します。	都市計画課
地域おこし協力隊による茅葺民家の保存・継承活動	地域おこし協力隊による茅葺民家の保存及び継承活動をとおして、歴史的景観の価値向上を図ります。	政策企画課 都市計画課



主要な取組における参考指標



基本施策3 観光の振興

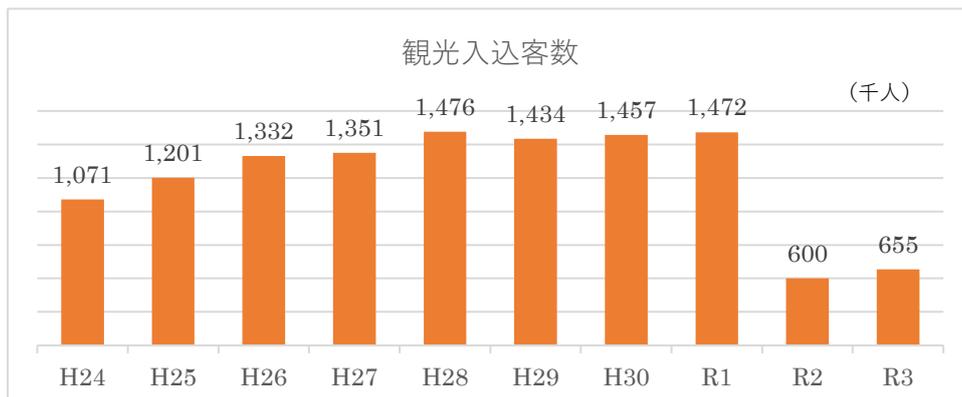
あるべき
将来の姿

多様な主体との協働により、豊富な観光資源を磨き上げ、活用し、継承された観光交流都市となっています。

成果指標	基準値 (令和2年度)	基準値 (令和4年度)	目標 (令和13年度)
観光入込客数（年間）	148万人 <small>(※令和元年度)</small>	66万人 <small>(※令和3年度)</small>	200万人
1人当たりの観光消費額（日帰り）	4,099円	4,286円	5,000円 <small>※観光振興計画の見直し過程において目標値を検討中</small>
1人当たりの観光消費額（宿泊）	8,400円	12,077円	10,500円 <small>※観光振興計画の見直し過程において目標値を検討中</small>
観光客満足度（来訪者アンケート調査）	71.2%	87.0%	80.0% <small>※観光振興計画の見直し過程において目標値を検討中</small>

現状・これまでの取組

- 本市は筑波山や霞ヶ浦等の自然環境や常陸風土記の丘、やさと温泉ゆりの郷などの観光施設、舟塚山古墳等の歴史遺産など、豊富な観光資源を有しています。また、令和3年度にリニューアルした「いばらきフラワーパーク」、「花やさと山」を核として、民間事業者や観光ボランティアなどと連携した周遊観光の推進を図っています。
- 石岡のおまつり（常陸國總社宮例大祭）や柿岡のおまつり（八坂神社祇園祭礼）など地域文化を活用し、観光客の誘客を図っています。
- 現在、本市と桜川市をむすぶ、回遊ルートの1つとして重要な役割になる上曾トンネルが令和7年度の供用開始を目指して整備を進めています。
- 観光分野では、地域経済の活性化のため外国人観光客の誘致に積極的に取り組んでいます。そのため、地域と外国人が異なる文化を互いに認め合い、対等な関係を築いて共に生きられる環境を整備しています。
- 積極的な情報発信とおもてなしの強化として「いしおかファンクラブ」を設立しています。
- 筑波山地域ジオパーク推進事業として、市内にあるジオサイトの[歓迎サイン](#)や解説板の設置、パンフレットの作成、学校教育への積極的な活用、清掃活動などの保全活動を行っています。



- （仮称）上曾トンネルが令和7年度に開通予定となっています。県南地域と県西地域が結ばれ、茨城空港までを東西に結ぶ基軸も形成されることから、県南・県西地域間の連携強化が見込まれ、地元産業や物流のほか、観光を支える路線としても期待されています。
- 石岡市観光協会については、これまで法人化に向けて必要な協議を進めてきました。令和6年上半旬に法人化する（した）ことで、本市の観光事業の中枢を担います。

課題

- 令和2年度から新型コロナウイルス感染拡大の影響により、落ち込んだ観光需要を回復させる施策が必要となります。石岡のおまつりなどのイベントの開催延期や中止が相次いだため、市内の観光業が落ち込んでいます。
- 本市は、観光客の多いつくば市や笠間市とも接しているため、果樹のブランド化など市の知名度を高め、周辺市から更に本市へと観光客の誘客を図っていく必要があります。
- 観光果樹エリアを維持していくためには、後継者問題等への対応が必要です。
- 石岡のおまつりや、いばらきフラワーパークのバラまつり、フルーツ狩りなど、時期により観光客が増加していますが、年間を通して安定した誘客を図ることが課題となっています。
- 石岡のおまつりは、本市最大の誘客数を誇る一大イベントとなっていますが、最大限観光に活用するためには、高齢者や障がい者にも配慮した環境整備などを行い、参加する側と見る側双方がともに楽しみ、さらなる魅力向上に努める必要があります。
- 地域住民や事業者、行政等が一体となり、市内に点在する観光資源を連携させることで、広域的な視点も含めた周遊可能な観光エリアを形成することが必要です。また、歴史遺産やジオサイト等について、観光だけではなく教育分野でも活用するなど、多角的な視点での地域振興が重要です。
- 急速に進展するデジタル社会に対応したサイン表示や観光案内板の設置が必要です。観光地における駐車場の確保や統一的なコンセプトを基にしたサイン標示、案内板の設置等を引き続き進めることが必要です。
- （仮称）上曾トンネル開通により、周辺地域を含めた本市の観光への好影響を踏まえて、必要な取組を検討する必要があります。
- 観光振興体制の充実のため、法人化される（した）石岡市観光協会の体制強化を図る必要があります。
- 常陸風土記の丘周辺地域に関しては、運営方針等の見直しも含めて、魅力ある観光資源の一つとして一体的な利活用を検討する必要があります。

関連計画

- ・ 第2次石岡市観光振興計画（令和元年度～令和10年度）

主要な取組

取組名	取組内容	担当課
新たな観光の推進	デジタル社会への対応やアフターコロナを踏まえた新型コロナウイルス感染防止対策や社会全体のデジタル化を背景とした新たな観光を推進します。	商工観光課 産業プロモーション課
観光PR事業	日本国内に向けて旬の観光情報を提供するばかりでなく、インバウンド消費を拡充するため、海外に向けても市の魅力を積極的に発信するなど、新たな消費者に向けた戦略的な観光PR活動を実施します。	商工観光課 産業プロモーション課
観光客誘致促進事業	いばらきフラワーパークをはじめとする市内の観光資源や、特産品を活かした魅力向上を推進するとともに、周辺自治体との連携による周遊観光にも注力するほか、自然体験等を通じた交流事業を行うことで、観光入込客数の増加を図ります。	商工観光課 産業プロモーション課 政策企画課
サイン標示や案内板の設置	デジタル社会に対応したサイン標示や観光案内板を設置することで、観光客の誘客や周遊観光につなげます。	商工観光課
フィルムコミッション	石岡ならではの風景や建築物を活かしたロケ撮影が円滑に行えるよう、様々な支援を行います。	商工観光課 産業プロモーション課
筑波山地域ジオパーク推進事業	筑波山地域ジオパークについて観光・保全文化・教育等多角的に活用するとともに、周辺環境の整備により、交流人口の拡大を図ります。	文化振興課 商工観光課
石岡市観光協会の体制強化	人材育成等の強化とノウハウの蓄積により、持続的な観光振興施策の推進体制を強化します。	商工観光課

主要な取組における参考指標

東京圏からの田舎体験ツアー等の参加者数

自然体験やオンラインツアー等、東京圏の方に対するツアー・セミナーの参加者数（累計）

基準値
(令和元年度)

実績値
(令和4年度)

目標
(令和9年度)

106人 ▶ 118人 ▶ 760人

インバウンドファムツアー開催回数

ターゲット国の観光事業者やメディア等を対象とした現地視察ツアーの開催回数（累計）

基準値
(令和4年度)

目標
(令和9年度)

1回 ▶ 6回

観光メニュー設定数

広域観光として、本市が含まれる周遊プランの設定数（累計）

基準値
(令和2年度)

実績値
(令和4年度)

目標
(令和9年度)

0プラン ▶ 2プラン ▶ 5プラン

観光サイン・案内板の設置箇所数

観光に関するサイン・案内板の設置箇所数
(累計：新設・改修含む)

基準値
(令和2年度)

実績値
(令和4年度)

目標
(令和9年度)

38か所 ▶ 39か所 ▶ 40か所

フィルムコミッション撮影本数

フィルムコミッションの撮影本数（年間）

基準値
(令和元年度)

実績値
(令和4年度)

目標
(令和9年度)

6本 ▶ 6本 ▶ 12本

ジオパーク関連事業数

筑波山地域ジオパークに関連する事業
(年間)

基準値
(令和2年度)

実績値
(令和4年度)

目標
(令和9年度)

10件 ▶ 9件 ▶ 基準値を維持

大地の公園「ジオパーク」 教育・保全・観光を主軸とした新たな地域振興

筑波山地域ジオパーク

ジオパークは、地質学的に貴重な、あるいは景観として美しい地形・地質などの「大地の遺産」を保護するとともに、教育、ツーリズムなどの推進に活用し、地域の持続可能な展開に寄与することを目的としています。なお、「ジオ」は「地球・大地」という意味があり、ジオパークは「大地の公園」とも言われています。

石岡市、笠間市、桜川市、つくば市、土浦市、かすみがうら市の6市からなる筑波山地域ジオパークは、住む人にも訪れる人にも「みんなに愛される地域づくり」を目指しています。

本市のジオサイトの主なみどころは「[龍神山雲母片岩の露頭](#)」「[波付岩](#)」「[鳴滝](#)」「[龍神山・波付岩](#)」「[峰寺山・十二塚](#)」「[八郷盆地](#)」「[高浜入り](#)」等、多種多様で自然豊かなスポットが数多くあります。

写真

令和3年にリニューアルオープンした五感を刺激する本市の観光拠点

いばらきフラワーパーク・花やさと山

五感を刺激する「いばらきフラワーパーク」と、非日常的な空間でのアウトドア体験や宿泊ができる「花やさと山」は、本市ならではの豊かな自然を最大限活かした観光スポットです。四季折々の花々や様々な里山体験ができる本施設を観光拠点として、市内外に魅力を発信しています。

写真

写真